

借り物競走に笑顔

大短保佐奈良

4年ぶり
大学祭 近隣住民も参加

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学(池内ますみ学長)で28日、第56回「佐保祭」を見たことのない景色へ「青春を取り戻せ」が開かれ、学生らが学びの成果を披露するとともに4年ぶりの大学祭を楽しんだ。大学祭実行委員会と同大生がキャリア支援センターが企画、運営を担当。コロ

ナ禍で学生同士の交流自体が減っていたことから、学生や近隣住民の子どもも参加できる運動会や、eスポーツ大会などを実施し

た。運動会の借り物競争では2人1組で「教科書」や「学長」など、指定された借り物、借り人を探し出し、ゴールを目指した。また魚つりゲームやたこ焼き玉入れなど学生が手作りしたゲームを楽しめるコーナーや屋台もあり、多くの人でにぎわった。同大生活未来科2年の木戸陸斗実行委員長(20)は



借り物競争を楽しむ学生ら。28日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学

「コロナ禍で高校、大学と行事がなかったの、その分、思い切り楽しめるような企画を考えた」、同2年の塩谷望心副実行委員長(20)も「さまざまな年齢の学生がいるので、みんなが青春を取り戻せる大学祭になれば」と話した。